

# 平田五郎／フィールドワーク記録集 [遠くまで歩く]

夏の朝の陽ざしはまぶしく、空は白く見えた。少しの間、自分がどこにいるのかわからず、仰向けになって見上げているその空の中に吸い込まれて、自分が点になって消えていくように思われて怖かった。

はっきり目が覚めてくると、広い砂浜に寝ていることがわかり、また一日炎天下を歩き、夕方には眠る場所の心配をすることになるのだと思ひ不安になった。大学一年の夏に行った徒歩旅行での事。

数時間歩いて日陰に入ると、そのまま座り込んで何も考えず、ずっとぼんやりしていられるほどに、その頃の自分にはつらい旅行だった。道すがら側溝の底で飛べなくなった蝶が、点々と陽ざしの中で動いているのを見た。それは歩いていなければ見る事の出来ない光景だったが、そのまま自分の姿と重なった。テントも持たず野宿を繰り返した。駅前の公園、タクシーの営業所、砂浜、橋の下。

旅行が終わりに近づいたころ雨を避けて眠った、海に流れる小さな川に掛かる橋の下で、海水浴客達が夜半に花火を始めたのに遭遇してしまった。彼らはその橋の上において、すぐ下に私がいることを知らなかった。同じ場所にながら、全く別の世界にいること。

平田五郎／フィールドワーク記録集 [遠くまで歩く] より抜粋

フィールドワークという言葉は、動物行動学で観察対象の動物たちがありのままの姿で暮らしている環境のことをフィールドと呼ぶことから使用した。初期の研究者たちは檻や箱に入れた動物たちを観察するのではなく、フィールドに出ることを重要視し、対象の動物から身を隠して、しばしば彼らの方が小さなケージに入った。

フィールドという言葉には、単に野外という事だけではなく、美術や美術館という制度から離れるという意味が含まれている。

## お申し込み方法

下記お申し込み書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。  
※メールでもお申し込みを受付いたします。

FAX : 0564-28-6116

Mail : msg@kcf.biglobe.ne.jp

## 取扱いギャラリー masayoshiSuzukigallery

愛知県岡崎市康生通南3丁目20番地 STAGEビルII 1F 〒444-0044  
Tel / 0564-28-1317  
HP / www.masayoshisuzukigallery.com

## お申し込み書

フリガナ  
氏名

(〒 — )

住所

電話 ( ) —

FAX ( ) —

Mail  
アドレス

写真集の納品方法

※どちらかお選び下さい。

ギャラリーにて受取り

宅配希望 (宅配の場合は別途費用がかかります)

## 平田五郎

1965 東京都生まれ  
1988 東京芸術大学美術学部絵画科 (油画専攻) 卒業  
1990 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻 (壁画) 修士課程修了  
現在 茨城県取手市在住

## 個展

1990 「水舟」東京芸術大学展示スペース／東京  
1992 「From Talking Circle '92 平田五郎展」ギャラリー・アート倉庫／東京  
1995 「平田五郎展 MIND SPACE — 4つのとび地 —」  
ストライプハウス美術館／東京  
1996 「THE GARDEN #13 平田五郎 庭園の顕現」INDEX GALLERY / 大阪  
「クリテリウム 21 平田五郎 Mind Space」  
水戸芸術館現代美術センター／茨城  
1998 「平田五郎 Mind Space — 空を見るために」ギャラリーαM / 東京  
2000 「平田五郎展 Mind Space — 積木の家」ノブギャラリー／岡崎・愛知  
2001 「平田五郎展」ノブギャラリー／岡崎・愛知  
2002 「佐久島空家計画 — 大葉郎 佐久島 愛知 (〜'08)」  
「特別展示 平田五郎」群馬県立近代美術館／群馬  
2007 「月を盗んだワタリガラス」GALLERY A4 / 東京  
2009 「月を盗んだワタリガラス」masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知  
2010 「月を盗んだワタリガラス」Yookgongsa Gallery / 韓国・釜山  
2012 「遠くまで歩く」masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知

## グループ展

1986 「FROM SOUND 共鳴する美術館」ストライプハウス美術館／東京  
1987 「音と造形・特別展 音とオブジェたち展」こどもの城／東京  
1988 「SOUND GARDEN 2」ストライプハウス美術館／東京 (90・91・94)  
1989 「ふれあい彫刻展」NSビル／東京  
「剛と五郎のちよっと楽しい展覧会」東京芸術大学展示スペース／東京  
1991 「アートプロジェクト 2000 複合展示会—東京エントリー 1991」  
ラフォーレミュージアム原宿／東京  
1993 「サウンドカルチャー・ジャパン'93 音響展」有楽町／桐生・群馬  
1997 「九頭龍展」清州国立美術館および大清湖／韓国  
1998 「TRACE 展—8人展—」ギャラリー SOL / 東京  
「超日常—日本現代美術7人展」上海美術館／中国  
「日韓現代美術展—自己と他者の間—」目黒区美術館／  
東京、国立国際美術館／大阪、韓国文化藝術振興院美術館／ソウル  
「テイストと探求—1990年代の日本美術」ニューテリー国立近代美術館／  
インド、マニラ、メトロポリタン美術館／フィリピン  
1999 「呼吸する風景」埼玉県立近代美術館／埼玉  
「アジアのニュー・インスタレーション」  
マットレス・ファクトリー／ピッツバーグ・アメリカ  
2000 「SCALE&SPACE vol.7 一刻—」ノブギャラリー／岡崎・愛知  
「Gold Frame 展」ノブギャラリー／岡崎・愛知  
「Gendai : 日本の現代美術—ボディとスペースの間」  
ウルシヤワ現代アートセンター／ポーランド  
「水晶の塔をさがして 現代アートが開く『私』の世界」  
福岡市美術館／福岡  
2001 「ヴァイブレーション 結びあう知覚」宇都宮美術館／栃木  
「SCALE & SPACE vol.9 -Drawing-」  
ノブギャラリー／岡崎・愛知  
「ヴァイブレーション 結びあう知覚」宇都宮美術館／栃木  
「SCALE & SPACE vol.9 -Drawing-」  
ノブギャラリー／岡崎・愛知  
2002 「Temporary Existence」  
エクス・テレーザ国立現代美術センター／  
メキシコシティ・メキシコ  
2006 「素景」資生堂ギャラリー／東京  
2007 「WAX WORKS SITE vol.5」GALLERY TOMOS / 東京  
2009 「エコ&アート—アートを通して地球環境を考える— 近くから遠くへ」  
群馬県立館林美術館／群馬  
ARTIST FILE 01 / masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知  
ARTIST FILE 02 / masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知  
贈り物 / masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知  
2011 ARTIST FILE 03 / masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知

## フィールドワーク

1988 「蟻の生活」／笠間・茨城  
1989 「燃やされた人」／笠間・茨城  
「Mind Space」東京芸術大学音楽部グラウンド／東京  
1990 「シェルター」自宅庭／浦和・埼玉  
1991 「Snow House」／築場・長野  
「開かない門」白神山地／秋田  
「ひみつの通路」湧洞沼／豊頃町・北海道  
1992 「Mind Space」個人宅庭／鎌ヶ谷・千葉  
1993 「Snow House」オンネトー湖／足寄町・北海道  
「Mangrove Ship—緑の船のプロジェクト」／西表島・沖縄  
1997 「8月20日 空を見るために」／清州・韓国  
1998 「風のなかの歩行—砂の家」／トルファン・中国  
1999 「山頂への歩行」／ラダック・インド  
2005 「INSIDE PASSAGE—月を盗んだワタリガラス」  
クィーン・シャーロット島／カナダ〜南東アラスカ・アメリカ

## 受賞歴

2004 五島記念文化賞 (美術新人賞)  
2005 創業50周年記念 Benesse 賞 (優秀賞)

年 令 才 性 別 男 ・ 女

職 業